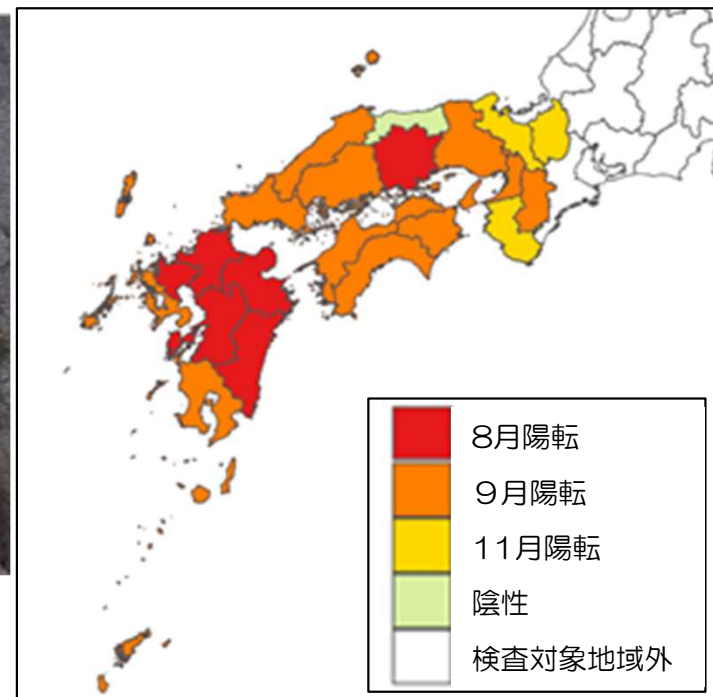


牛の異常産に要注意!!

ワクチン接種で予防しましょう!

- ◆ 2025年8～11月に、牛に異常産を引き起こすアイノウイルスが、京都府を含む西日本の広い範囲に侵入したことが判明しています
- ◆ 免疫を持たない妊娠牛が感染すると、感染直後に流産を、冬～翌春にかけて体型異常や神経症状といった異常産を引き起こします



アイノウイルス感染症による異常産症例
 (肢や背中骨が曲がるといった体型異常や
 起立不能といった神経症状を呈する
 (動物衛生研究部門ホームページより))

アイノウイルスの侵入が確認された地域
 (2025年)



ウイルスによる牛の異常産は
ワクチンによる予防が可能です!



- ★ 異常産4種混合：アカバネ病、アイノウイルス感染症、
チュウザン病、ピートンウイルス感染症
- ★ アカバネ病ワクチン：アカバネ病のみ
- ★ イバラキ病ワクチン：イバラキ病のみ

◎ ウイルスを媒介するヌカカ等の吸血昆虫が活動を始める前に
ワクチン接種で牛を守りましょう!

◎ 流死産、奇形などが発生しましたら、当所までご連絡ください

問合せ先：京都府南丹家畜保健衛生所（京都府家畜畜産物衛生指導協会南丹支部）

TEL:0771-42-3308

FAX:0771-42-5117